

## 全国学力・学習状況調査結果

今回の調査において、県全体としては全国平均と同程度の結果となりました。新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、生徒たちが努力したことはもちろんのこと、各学校が学びを止めることなく、工夫して授業に取り組んできたことの表れです。本校においては県平均、全国平均を上回る結果となりました。しかしながら、身につけていない力や苦手な分野が結果に現れており、これは、1、2年生においても同様です。課題への対策は、全学年取り組む必要があります。

### 1 各教科の分析結果と課題について

#### 【国語】

国語については全ての観点で正答率が全国・県平均を上回っており、正答数8割を超えている生徒も、全国、県と比較して多い結果です。また、生徒質問紙において、全ての生徒が「国語の授業の内容はよくわかりますか」の項目について肯定的に答えていることを考えると、授業に意欲的に取り組み、着実に力を身につけてきている生徒が多いといえます。

具体的には、学習指導要領の「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」や、「思考力・判断力・表現力等」の「書くこと」については、全国、県平均を大きく上回っており、必要な情報を取り出して適切に活用することや、自分の考えを書いたり、求められる内容について条件に応じて書いたりする力がついてきた生徒は多いことがうかがえます。

課題としては、「思考力・判断力・表現力等」の「話すこと・聞くこと」において、「論理の展開などに注意して聞く」「自分の考えが分かりやすく伝わるように話す」ことが挙げられます。また、「読むこと」においては、「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える」ことが課題です。慣用句や表現技法の理解についても課題があります。

	学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
		本校	県	全国
国語	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69	73	72
	(2) 情報の扱い方に関する事項	79	51	47
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	79	71	70
数学	A 話すこと・聞くこと	67	66	64
	B 書くこと	79	51	47
	C 読むこと	75	68	68
	A 数と式	71	59	57
理科	B 図形	60	43	44
	C 関数	60	43	44
	D データの活用	62	57	57
	「エネルギー」を柱とする領域	50	41	42
	「粒子」を柱とする領域	54	50	51
理科	「生命」を柱とする領域	76	59	58
	「地球」を柱とする領域	45	45	44

令和4年度全国学力・学習状況調査結果(本校・県・全国)

#### 【数学】

数学については領域・評価の観点いずれにおいても正答率が全国・県平均を上回っており、正答数8割を超えている生徒も、全国、県と比較して多い結果です。また、生徒質問紙において、8割以上の生徒が「数学の授業の内容はよくわかりますか」の項目について肯定的に答えていることを考えると、授業に意欲的に取り組み、着実に力を身につけてきている生徒が多いと言えます。

具体的には学習指導要領の「数と式」や評価の観点「知識・技能」では全国、県平均を大きく上回っており、生徒質問紙においても「解き方がわからないときはあきらめずにいろいろな方法を工夫すると全生徒が回答していることから、繰り返し問題を解くなど努力をしながら、基礎・基本を身につけてきた生徒が多い」と言えます。

しかしながら、図やグラフを読み取る問題、説明をする問題については問題の意図を理解して答えることのできる生徒が少ない傾向にあります。「数と式」の領域では、「結論が成り立つための前提を説明すること」、「図形」の領域では「証明に関する問題」において、正答率は20%台です。「資料の活用」の領域では、「箱ひげ図の分布の特徴を読み取ること」に関する問題において課題があります。

#### 【理科】

理科については数学と同様、領域・評価の観点いずれにおいても正答率が全国・県平均を上回っており、正答数8割を超えている生徒も、全国、県と比較して多い結果です。また、生徒質問紙において、全ての生徒が「理科の授業の内容はよくわかりますか」の項目について肯定的に答え、「解き方がわからないときはあきらめずにいろいろな方法を工夫すると全生徒が回答していることから、授業に意欲的に取り組み、徐々に力を身につけてつある状態であることがうかがえます。

具体的には学習指導要領の「生命を柱とする領域」で全国、県平均を大きく上回っており、力をつ

けていることがうかがえます。しかしながら、全国・県平均を超えていても学習指導要領の領域の「地球を柱とする領域」では正答率が50%以下で、苦手としている生徒が多いことがわかります。気圧及び化学変化に関する知識・技能や、変化をデータ等から分析して解釈する力も不足しています。求められている内容に対応して答えることにも課題があります。

## 2 各教科の課題への対策について

- ★全ての教科において、課題に対応するやまぐちっ子学習プリントを活用します。
- ★わかりやすく伝える力をつけていくために、全校スピーチの充実を図ります。
- ★授業と家庭学習がつながるように指導します。

### 【国語】

- ①慣用句やことわざなど、日常会話でなじみがない表現について、語彙を増やす指導をします。
- ②表現技法に着目し、用語の使い方を再確認します。
- ③言葉の吟味やわかりやすさなど、生徒同士の学び合いをとおして理解する言語活動をします。
- ④相手の立場に立って、自分の考えを筋道立てて話す場面を多く設定します。
- ⑤文章の音読・黙読を大切にしながら、理解したことや考えたことについて伝え合ったり、文章にまとめたりする場面を多く設定します。

### 【数学】

- ①説明する問題では、キーワードとなる言葉を見逃さず、順序だてて書く練習を取り入れます。
- ②証明の中で、より良い表現について考察する機会を設けます。
- ③「思考・判断・表現」を問う演習問題を数多く行います。「箱ひげ図」の問題にも慣れさせます。

### 【理科】

- ①例題を通して、求められる答えやポイントを指導し、問題に慣れさせます。
- ②問題文にある実験や自然現象を想像し、考えやすくするために、文章を読んで得た情報を図や表または空欄に素早く記入し、目で見て判りやすい状態にして答案することを指導します。
- ③気圧では、ポテトチップスの袋が富士山の頂上に持って行くとパンパンに膨らんだ！化学変化では、ドロドロだったホットケーキミックスの材料が加熱されると膨らんだ！という考えのきっかけの部分で、基本となる現象を説明できるように対話的に学習して定着を図ります。
- ④データ分析については、例題に取り組む時間を多く設定し、表やグラフの読み取りに慣れさせます。

## 2年キャリア教育 ～夢への一歩～

### みらいWalkers UBE開催

9月28日(水)に本校2年生が、宇部市教育委員会主催の「みらいWalkers UBE」に参加しました。これは、宇部市内の中学生に対し働くことの意義や地元就職への意識の醸成を図るとともに、地元企業の魅力を体験できる参加型職業体験イベントです。キャリア教育の一環として、職業や勤労への関心を高め、職業について理解を深め、自己実現への意欲を高めることを目的としています。4～5人のグループで関心のあるいくつかの企業のブースを回り、体験活動を行いました。将来への意識付けができた1日でした。



ANAサンデン交通



宇部工業株式会社



国際ホテル

### 宇部商出前授業

2年生では、27日(火)の午後、総合学習の時間を使い、宇部商業高校から高校生4名に来ていただき「ビジネスマナー講座」を開催しました。基礎編ということで、あいさつの意味や方法などを高校生がクイズや実践を交えての解説でした。最初は高校生も本校生徒も緊張が感じられましたが、近い年齢ということもあってか、徐々に打ち解けて講座に引き込まれていました

#### 生徒感想

○礼や言葉遣いなど、これからできることをやっていきたいです。  
○高校生が来て、礼をするときの角度やあいさつを教えてくださいました。今までは礼には種類があるとは知らなかったけど、場合によって使い分けることを知りました。



高校生からアドバイスを受ける生徒